
あとがき

「かかりつけ医機能ハンドブック 2009」が完成した。東京都医師会地域福祉委員会委員の努力の成果だと思う。

2000（平成 12）年の介護保険制度の成立、2006（平成 18）年の医療保険と介護保険の同時改正は、地域医療を担う皆様に、大きな変化をもたらした。介護保険制度の中での主治医としての役割が、かかりつけ医とは何かを明示してくれた。

かかりつけ医は、暮らしの場の中で総合的な診療を行う医師像であり、在宅医療も行うことを期待されている。

「かかりつけ医機能ハンドブック」はこうした医師に対する時代の要請を踏まえ、地域の医療・介護・福祉を担う幅広い能力を有する医師となるために必要な知識を網羅したものとなっている。と同時に、これからのかかりつけ医が求められる医師像も描いている。

今まさに、少子高齢時代における医療のあり方が問われている。高齢者は、さまざまな障害を持っているが、診療の場面だけではなく、地域の多職種とのサービス担当者会議の中でも、医師として適切な意見が求められる。また、地域医療の対象者は高齢者だけではなく、癌の終末期、難病、生活機能障害、認知症などを抱えている人などさまざまである。こうした問題を抱えている人たちにかかわるときにも、是非参考としてほしい。

今後、後期高齢者医療制度の動向、療養型病床の廃止に関わる問題、医師不足や偏在、社会保障財源の確保など、地域医療にとって大変な問題が山積している。国民皆保険制度の堅持、現行の公的医療保険の適用範囲の堅持による、いつでも、どこでも、誰もが自由に、平等な医療にアクセスできる制度を維持するために、医療側がしっかりとした自助努力をしなければならない。そのためにも、本書を大いに役立てていただければ幸いと思う。



■ 執筆・編集者

氏名	活動の現場	
<東京都医師会理事>		
玉木 一弘	内科系診療所・介護老人保健施設	
<東京都医師会 地域福祉委員会委員>		
高瀬 茂	内科系診療所	品川区医師会会長
若林 研司	内科系診療所	三鷹市医師会副会長
安倍 智	内科系診療所・介護老人福祉施設配置医	下谷医師会会長
清水 恵一郎	内科系診療所・介護老人福祉施設配置医・在宅医療	東京内科医会副会長
山崎 隆夫	内科系診療所	渋谷区医師会会長
甲田 潔	内科系診療所	杉並区医師会理事
島田 潔	内科系診療所・在宅医療	板橋区医師会
辻 正純	内科系診療所・在宅医療・介護老人保健施設	練馬区医師会理事
横田 卓史	内科系診療所	西多摩医師会副会長
新田 國夫	内科、外科系診療所・在宅医療	北多摩医師会副会長
桑名 斉	療養病床	東京都病院協会理事
日野 研一郎	精神病床・医療療養病床	町田市医師会理事

氏名	活動の現場	
橋岡 孝之介	内科系診療所・介護老人福祉施設配置医	西東京市医師会理事
和光 儀威	内科系診療所	多摩市医師会理事
堀田 富士子	東京都リハビリテーション病院医療福祉連携室地域 リハビリテーション科長	すみだ医師会
狩野 信夫	東京都福祉保健局 高齢社会対策部 部長	

〈東京都医師会 前地域福祉委員会委員〉（あいうえお順）

天野 雄介	猪口 雄二	内村 逸郎
荻原 牧夫	窪田 茂比古	佐藤 秀紀
鈴木 順子	高橋 玖美子	田村 孝司
野村 寛	羽木 裕雄	長谷川 登
東野 昌史	福田 豊	本田 哲三
山田 拓実		

※「かかりつけ医支援ハンドブック 2005」（平成 17 年）を初版とし以降、改訂を続けてまいりました。初版より執筆・編集に携わった前委員会委員は、（あいうえお順）に掲載しております。本ハンドブックは第 3 版となります。

本ハンドブックの電子版は
<http://www.tokyo.med.or.jp>
 に掲載されています